

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：近畿地方整備局都市整備課
担当課長名：新階 寛恭

事業名	いちかわさがんせん たかぎ 市川左岸線(高木工区)		事業区分	街路	事業主体	兵庫県	
起終点	自：兵庫県姫路市野里 ひょうごけんひめじしのさと 至：兵庫県姫路市花田町小川 ひょうごけんひめじしはなだちょうおがわ			延長	1.7 km		
事業概要	本路線は姫路市中心市街地の東部に位置し、姫路市外環状道路と中環状道路を補完する環状道路である。このうち、国道312号から国道372号に至る1,702m区間について中心市街地の渋滞緩和と都市防災機能の強化を図るため事業を行っている。						
H元年度事業化	S38年度都市計画決定 (S63、H6年度変更)		H2年度用地着手		H10年度工事着手		
全体事業費	90億円		事業進捗率	98%		供用済延長	1.2 km
計画交通量	5,400台/日						
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 1.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 3/87億円 事業費：2/86億円 維持管理費：1/1億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 137/137億円 走行時間短縮便益：133/133億円 走行費用減少便益：3/3億円 交通事故減少便益：1/1億円	基準年 平成15年			
事業の効果等	都市の再生（都市計画道路網密度1.5km/km ² 以下） 国土・地域(大型車両すれ違い困難区域の解消) 災害への備え(消防活動困難区域の解消、延焼遮断帯の役割) 他4項目に該当						
関係する地方公共団体等の意見	本事業区間周辺は、細街路が多い密集市街地であり、消防活動困難地域にもなっていることから、地元及び姫路市からの早期完成要望も強い。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等							
事業の進捗状況、残事業の内容等	代替地の要求・権利関係確認等、用地交渉に難航したが、残権利者は1名となっている。また、事業区間のうち、約1.2kmは既に供用済であり、現在、残区間の道路改良工事等を鋭意進めている。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	事業区間も長く、用地買収に時間を要したが、残権利者については収用手続きも含め、平成16年度の契約を予定しており、残り区間の工事を順次行い、平成16年度中の完成供用を図る予定である。						
施設の構造や工法の変更等							
対応方針	事業継続						
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案し、平成16年度の事業完成の見通しも立っており、地元住民からも早期完成を望む声も強いことから、事業の必要性及び重要性は変わらず、継続して事業を実施する必要がある。						
事業概要図							

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。